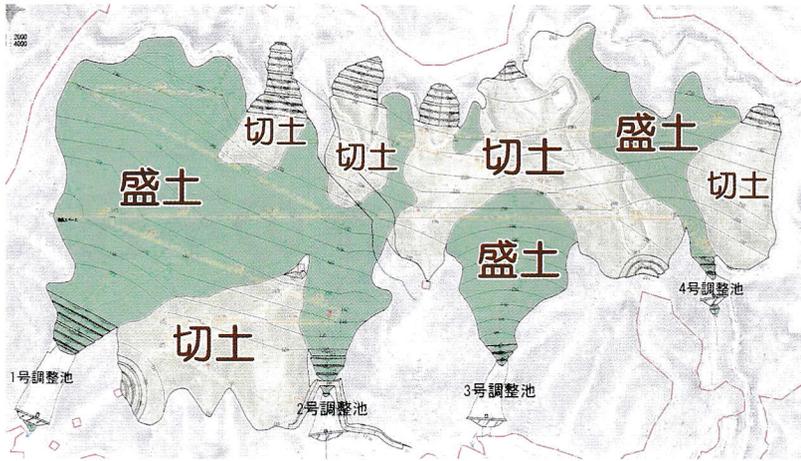


土砂の流れを止めるものなし



この工事は山を削って(切土)、谷を埋める(盛土)方式で行われます。盛土は人工的に作られた地盤で脆弱、圧密で沈下します。亀裂が出来、そこに水が入ると地滑りを起こします。

業者の計画は調整池を作って水の調整を行うとしていますが、土砂の流れを止めるものは何もありません。

土砂の流入で調整池が埋まり、大雨で土石流や土砂崩れが起こり、川をせき止め災害ダムが出来てしまいます。次の雨でこのダムが決壊すると、大洪水や土石流が街に押し寄せます。

盛土はなくなるまで崩壊を続ける

20年の事業期間が終わっても、盛土はそのまま放置されます。盛土はなくなるまで崩壊を続けます。大洪水や土砂災害の恐れは永遠に続くのです。

この地域には中央構造線が走っており、多くの活断層があります。地震が起これば、盛土が崩落する恐れもあります。

工事中の交通事故も心配

最大10トンのトラックが県道や生活道路を走ります。近大附属、楠見中学校や楠見東小学校の通学路を走ります。交通事故が心配です。トラックの荷台の土砂が飛散し、街が汚れます。

不誠実な業者

事業者の「和歌山太陽光合同会社」は、参加した住民が説明に納得できず引き続いて説明会を持つよう要望しているのに、一方的に打ち切ってしまいました。また、縦覧の文書と説明会に出された資料の内容が異なっているなど、信用できない会社です。



事業計画はすでに決定してしまったことではありません。これからでも中止させることができます。

私たちにできることは

●自治会で話し合みましょう。

市の条例では対象自治会の同意が必要とされています。

●県と業者に質問や意見を送りましょう。

県環境生活総務課のホームページからダウンロードできます。

業者のホームページは

<https://wakayama-solar.com/>

●署名にご協力下さい。

多くの市民の声を届けると、行政は簡単に許可できません。和泉山脈の自然と私たちの生活・命を守るために計画を中止させましょう。